

# PDCAサイクルの構築体制について

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 慶應義塾大学病院

平成29年9月1日現在

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、地域に対して行っている情報提供を記載してください。

- ①院内の見やすい場所に掲示している いいえ (はい/いいえ)
- ②院内誌、チラシ等で広報している いいえ (はい/いいえ)
- ③ホームページに掲載している はい (はい/いいえ)
- ④ホームページに掲載している場合、該当するページのアドレスを記載してください

[http://www.hosp.keio.ac.jp/about/yakuwari/shiiki\\_renkei.html](http://www.hosp.keio.ac.jp/about/yakuwari/shiiki_renkei.html)

- ⑤地域の広報誌等で広報している いいえ (はい/いいえ)
- ⑥その他の方法で掲載している いいえ (はい/いいえ)
- ⑦その他の方法がある場合、内容を記載してください

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

PDCAを使って改善することを想定している課題(いくつでも可)

例)	課題の内容	目標	目標達成の検証方法(データ源)
	患者満足度の向上	退院患者の80%が入院治療環境に満足する	3か月おきに日を設定して患者アンケートを行う。
1	新規抗がん剤の導入	安全かつ効率的な使用	新規抗がん剤の円滑な導入と、適切で安全な使用方法について、キャンサーボードでコンセンサスを得る。予期せぬ重篤な有害事象については、オンコロジーボードに報告する。
2	スムーズな地域連携の実現	がん地域連携クリティカルパスの運用	クリティカルパス運営委員会において、バス運用状況の定期的な評価を行う。地域の拠点病院や中核病院が集まる区西部がん診療ネットワークにおいて、バス促進のための施策について相互評価する。
3	緩和ケアスクリーニング実施体制の充実	・つらさのスクリーニングの確実な実行 ・スクリーニング結果に基づく苦痛への確実な対応	緩和ケアセンターにおいて、スクリーニング結果による評価を行い、オンコロジーボードに報告する。
4	周術期における口腔ケアの充実	周術期口腔ケア実施件数の増	オンコロジーボードにおいて、定期的な周術期口腔ケア実施件数を把握し、状況評価を行う。腫瘍センター内の口腔ケア設備の改善を行う。
5			

上記の目標に向けた活動計画の予定(未定の場合には、未定と記入)

1	有害事象の正確な把握のための体制構築を行う。
2	診療現場においてバス活用を促進させるために、事務担当者がサポートを行う。
3	充実のためのスクリーニング体制の院内整備を行う。
4	周術期口腔ケアの院内(抗がん剤による口腔合併症が多い診療科と呼吸器領域、消化器領域などの悪性腫瘍の手術を扱う診療科)への周知をはかり、早期に歯科と協働したチーム医療を推進する。看護師への口腔ケア教育を実施。
5	

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙46を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 **あり** (あり/なし)  
 ファイル形式 **PDF** (ワード/一太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)  
 その他の場合ファイル形式を記載してください。

